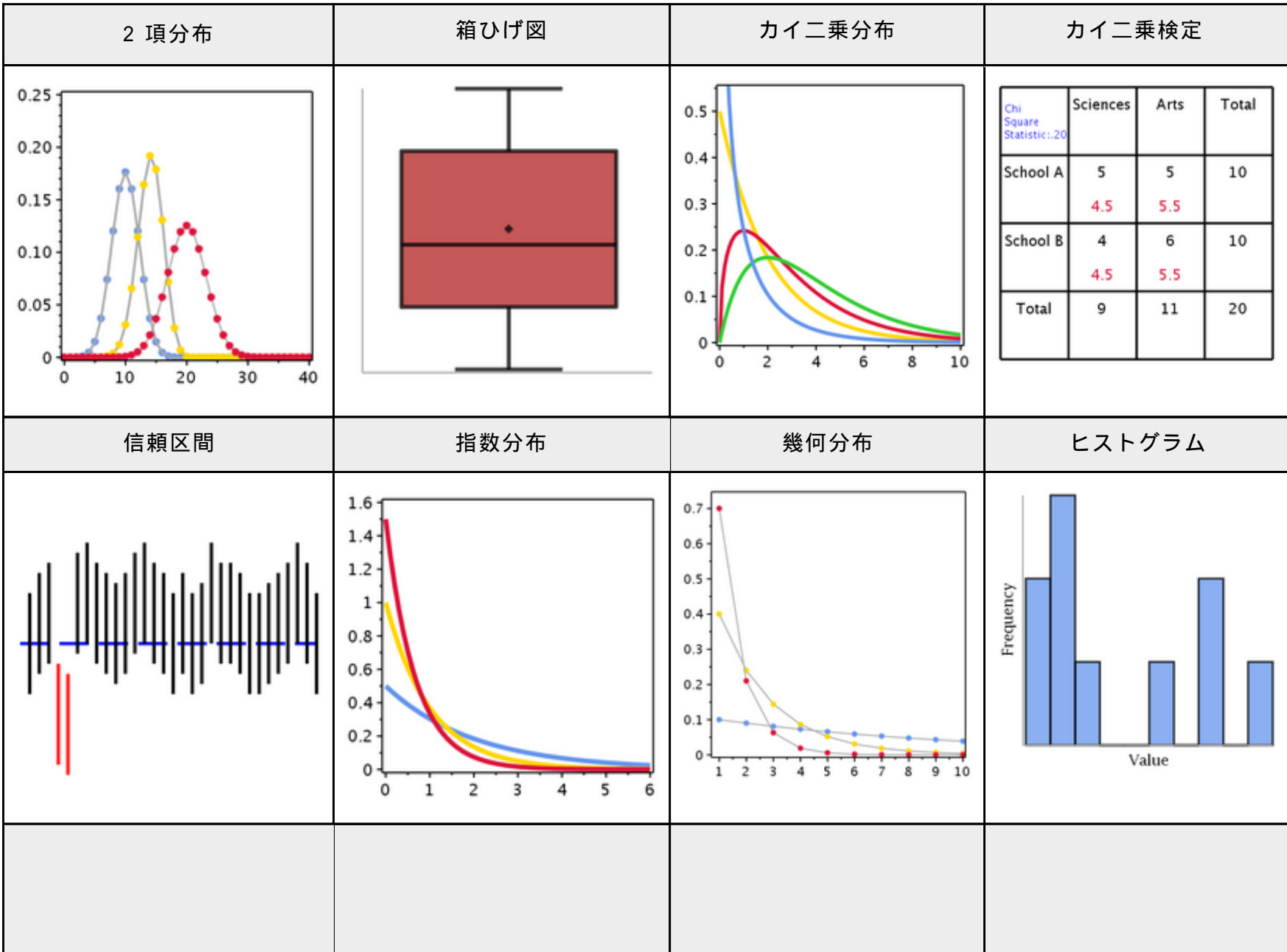
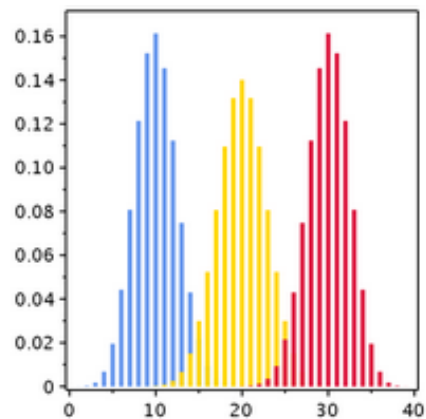


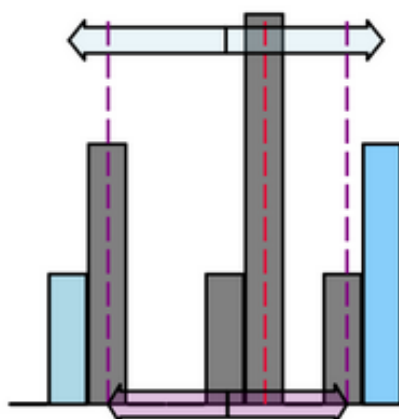
▼ Math Apps



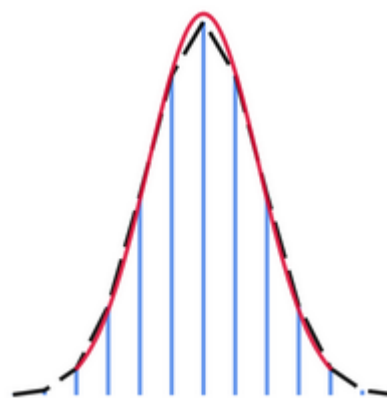
超幾何分布



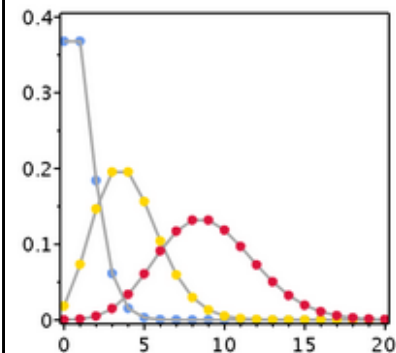
広がりの尺度



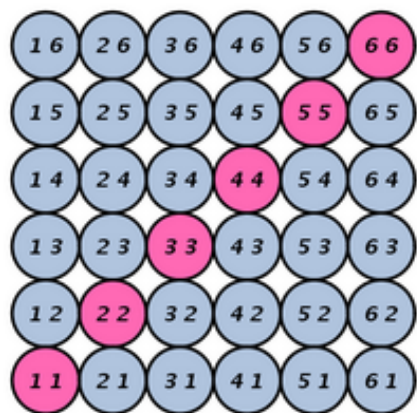
2 項分布の正規近似



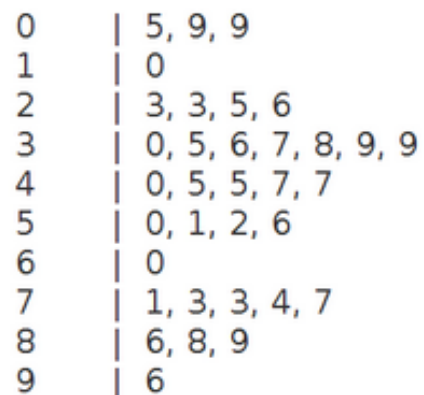
ポアソン分布



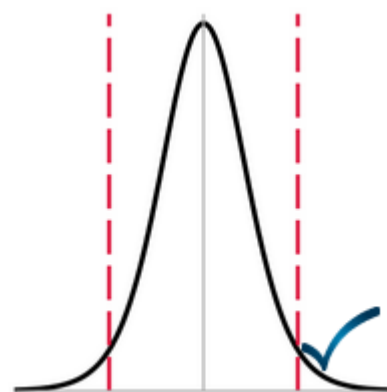
2 個のサイコロを使ったゲーム



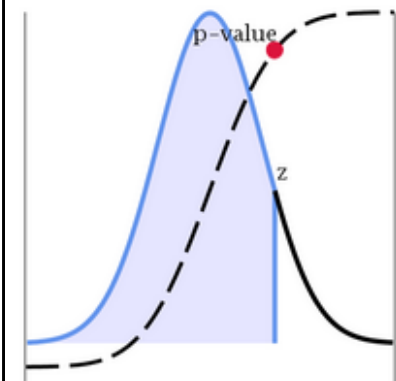
幹葉表示

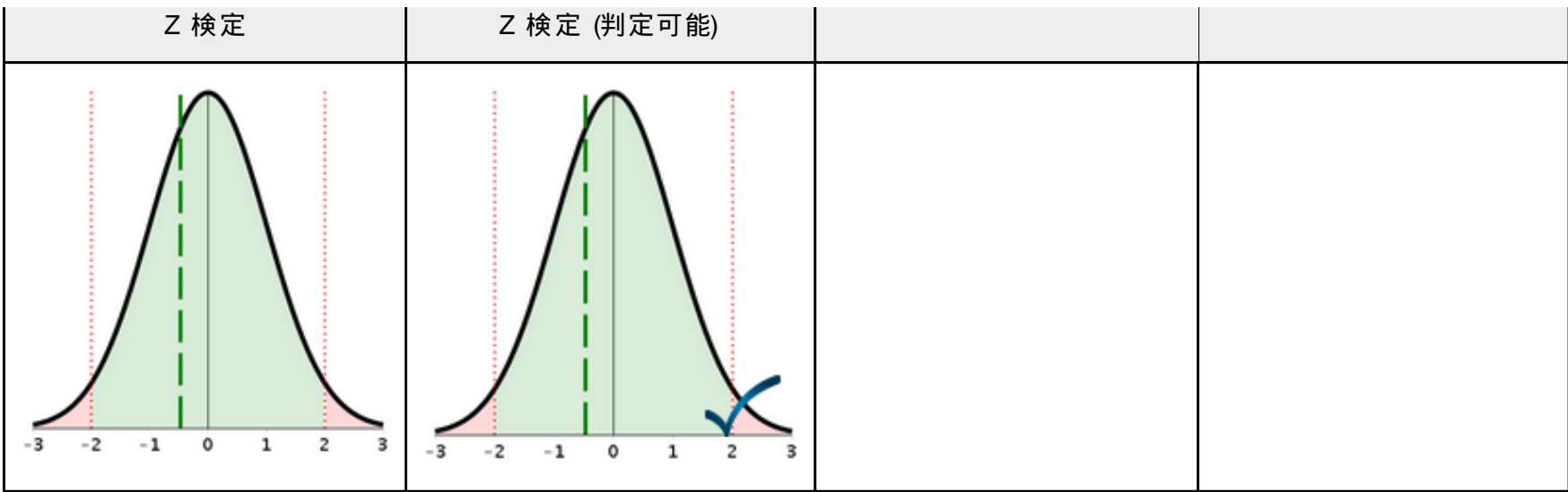


t 検定



Z スコア





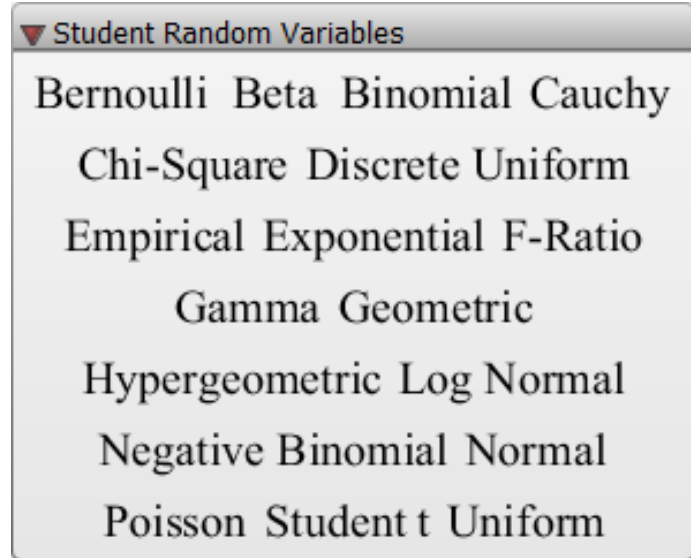
▼ [確率変数 (学習)] パレット

新しく追加された[確率変数 (学習)] パレットでは、[統計\(学習\)](#) パッケージにおける分布に基づいた[確率変数](#)を作成するためのボタンを利用できます。

各成分はテンプレートです。内容を入力するには、[Tab] キーを押して仮表現内を移動してください。

デフォルトでは、[確率変数(学習)] パレットは起動時に Maple ウィンドウの左枠に表示されません。パレットを有効にするには、[表示] メニューを開き、[パレット] > [パレットの表示] > [確率変数(学習)] の順に選択します。

パレットの詳細については、[パレットの概要](#)を参照してください。



[確率変数 (学習)] パレット

▼ 統計参照表

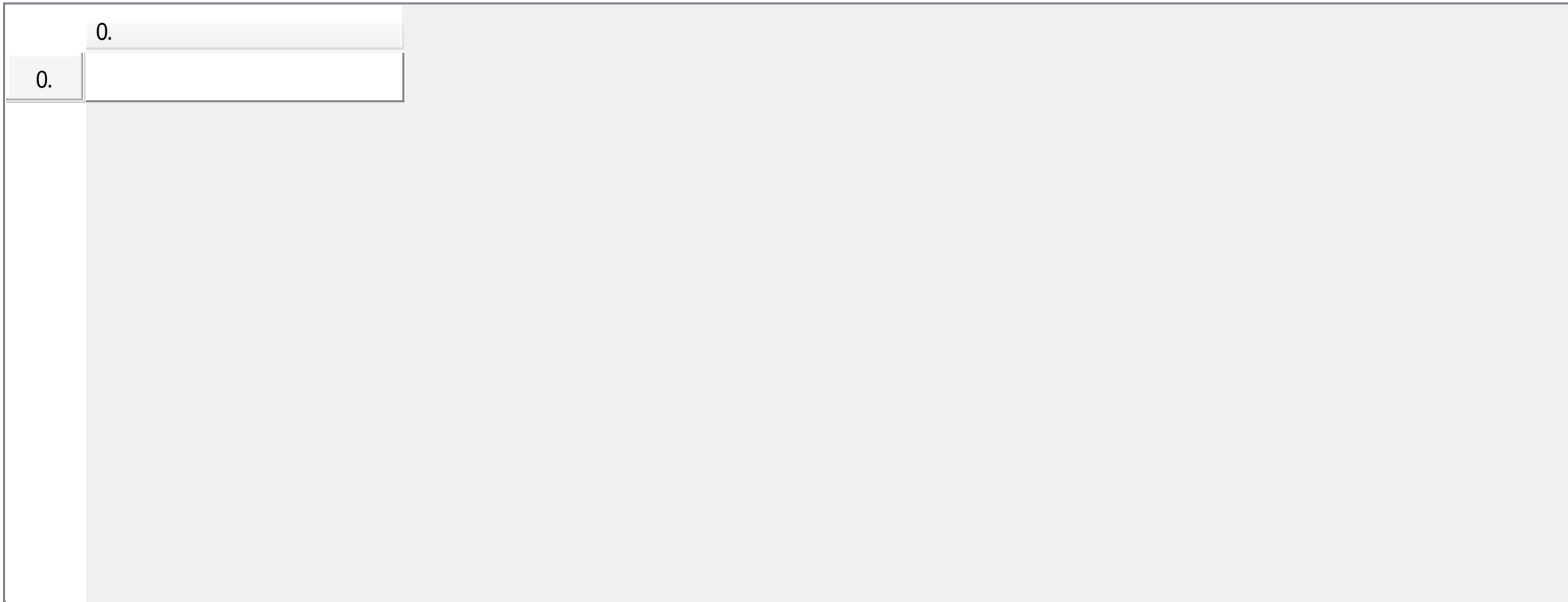
Maple 2015 では、統計参照表を生成するために [ProbabilityTable](#) と [CriticalTable](#) の 2 つのコマンドが用意されています。これらのコマンドは、[ツール] > [チューター] > [統計] メニューに新しく追加された 2 つの参照チューターからも使用できます。また、コマンドに含まれる出力オプションにより、[プログラム](#)

[によるコンテンツ生成](#)の新機能を使用して、埋め込みデータテーブルを生成できます。

ProbabilityTable コマンドは、確率分布表に対応する値の行列を返します。確率分布表の中でも最もよく参照されるのは、標準的な正規分布表です。

> *with(Student-Statistics)* :

> *ProbabilityTable(Normal, x = [seq(0.0..1.0, 0.1)], output = embed)* :



0.	
0.	

仮説検証で計算した複数の統計量のカットオフ値を決めるには、棄却限界値表が便利です。

> *CriticalTable(StudentT, output = embed)* :

.95

1

▼ その他の改善

従来の[検定ガイド](#)チューターが改良され、引数として 1 つまたは 2 つの標本を指定できるようになりました。つまり、任意の仮説検証を適用する際、チューターに入力せずに既存のデータに直接適用することが可能です。

> *Student.-Statistics:-TestsGuide*([1, 4, 7, 10], [2, 10, 34, 50])

["Chi-Square Test for Independence

(4.1

Null Hypothesis:

Two attributes within a population are independent of one another

Alt. Hypothesis:

Two attributes within a population are not independent of one another

Dimensions: 2

Total Elements: 118

Distribution: ChiSquare(3)

Computed statistic: 1.55778

Computed pvalue: 0.669002

Critical value: 7.81472828803626

Result: [Accepted]

This statistical test does not provide enough evidence to conclude that the null hypothesis is false"]

▶ Pages That Link to This Page